

「死」を誰よりも愛し、向き合い、
見つめ続ける歌人の第一歌集。

死のやわらかい

としての歌なのだろう。

……心をつくして死と向かいあい、命をかみしめ、生きていることを
味わう。いつか必ずやってくる死をゆっくり受け入れるための心の器

巻き貝のなかを明るくするように母は美大はむりよと言った
会うことのなかった四羽の心臓が一つに刺されて完成している
死ぬことが悲しいだけでなかったこと落ちて初めて燃ゆ流れ星

——東直子（栞文より）



死ぬことが悲しいだけでなかったこと 落ちて初めて燃ゆ流れ星

栞

岡本真帆／林あまり／東直子

【栞】 林あまり / 岡本真帆 / 東直子

【装丁】 名久井直子

直取引代行
トランスビュー

トランスビューの取扱いで納品いたします。
返品可。配本はありません。

＼1冊からお気軽に／

FAX：0120-999-968

貴店名	ご注文数	死のやわらかい 鳥さんの臉 著 2024年5月下旬 刊行予定 本体価格 1500円＋税 四六変形判 上製本 / 本文96頁 ISBN 978-4-9912719-4-6 C0092
ご担当者さま	冊	